

# 新年のごあいさつ



菊陽町議会議長

福島 知雄



菊陽町長

吉本 孝寿

菊陽町総合体育館

明けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、清々しい新春を迎えることと心よりお慶び申し上げます。旧年中は、町政の運営に對しまして、深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症が5類感染症の位置付けとなったことや、町民の皆さまに新しい生活様式の取り組みやワクチン接種などの感染防止対策にご協力いただいたことにより、「菊陽町夏祭り」や「すぎなみフェスタ」など、数年間自粛してきた各イベントを開催することができるようになりました。

また、町民の皆さまの喜びや楽しみ、新たなにぎわいの創出ができればとの思いから、従来のイベントのみならず「大相撲菊陽場所」や「ポップサークラス熊本公演」など、新しいイベントも開催することができましたことは、私自身もとてもうれしく感じております。

さらに、昨年は台湾新竹県宝山郷と友好交流協定を締結しました。この協定を通じて、台湾をより深く理解し、互いの発展に向けた連携を築いていきたいと思っております。

本年は、TSMC（JASM）新工場の生産開始を控え、本町にとりましても、この良き流れを地域経済の活性化や魅力あるまちづくりにしっかりとつなげていきたいと思っております。

明けましておめでとうございます。町民の皆さまには、お健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、4月に町議会議員選挙が執行され、新たに18人の議員で本町議会をスタートいたしました。議会の活動に對しまして、ご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

議会は、町民の皆さまからいただいた貴重な意見を町政に反映できるよう取り組むとともに、公共の福祉の向上など関連するさまざまな重要課題の解決に向けた政策の提案を行ってまいります。また、変化に速やかに対応できるよう、一つ一つ真摯に誠意を持って取り組み、執行機関と互いに研鑽し合うことで、より安心・安全で暮らしやすいまちづくりに努めてまいります。

本年は、世界最大の半導体受託製造企業である台湾のTSMCとソニーグループなどの出資による新会社である「JASM」での生産開始に向け、準備が着々と進められており、本町のさらなる活性化と発展に繋がる大きな変化があるものと考えています。

昨年6月に、交通混雑緩和・解消に関する特別委員会を設置しました。課題解決に向け、国、県、関係機関と連携して取り組んでまいります。

一方、新工場が稼働するセミコンテックノパーク周辺の交通渋滞や半導体関連産業の集積に伴う排水対策など、対応していかなければならない喫緊の課題もあります。

セミコンテックノパーク周辺の交通渋滞に關しましては、県と連携し、県道大津植木線多車線化および合志ICアクセス道路の整備計画について、スピード感を持って進めているところです。

また、工場の排水対策につきましても、県や合志市と連携・協力し、迅速に下水道整備を進めることの基本協定を締結しました。

本町におきましても、国家戦略である半導体産業の強化を担うこの事業が円滑に進むよう、そして町民の皆さまが安心して暮らせるよう、町としての役割をしっかりと果たしてまいります。

町の「これから」を考える上で、町の「いま」も大切に、町民の皆さまに「いつまでも住み続けたい」と思っていただけのような本年も尽力してまいりますので、より一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、本年が町民の皆さまにとって、より良き年となりますようご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

また、昨年9月には議会台湾研修を行い、本町が友好交流協定を締結した台湾新竹県宝山郷へ表敬訪問を行いました。また、TSMC本社と工場の水処理設備を見学し、水をはじめとする環境の安全に對して、非常に真面目に取り組んでいる企業であることを理解しました。今後も、関係する情報を町民の皆さまに丁寧にお伝えしてまいります。

本年初めには、議場に傍聴者用の大型モニターを導入します。これにより、議論内容の詳細を傍聴者の皆さまにお伝えすることができるようになります。毎年3、6、9、12月には定例会を開催しておりますので、ぜひ議場にご来場いただきますようお願いいたします。併せて、議会の活動のさらなる活性化に努めてまいります。

本年も、町民の皆さまに寄り添い、全議員が力を合わせて取り組んでまいりますので、町民の皆さまのご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、町民の皆さまにとって本年が素晴らしい年となりますようご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。